

Monju.TIMEZ

文殊ノ会 会報誌

Topics.

サプライチェーン
と
心を整える春



4

2026年
月号

 文殊ノ会

Monjunokai as a Platform in Kobe

Topics.

サプライチェーンと 心を整える春

1. “目標だけで終わらせない” 新年度目標と振り返りの仕組み

新年度のスタート時に掲げた目標が、年度末には忘れられてしまう——そんな状況を防ぐには「振り返りの仕組み化」が鍵になります。部署ごとの KPI を月次・四半期ごとに確認し、1on1 やミーティングで進捗と課題を共有することで、目標が日々の行動と結びつき、組織全体の成長サイクルが回りやすくなります。

2. 神戸で考える「働き方とメンタルケア」入門

環境が大きく変わる春は、業務量だけでなく、職場の人間関係や生活リズムの変化が重なり、心身の不調が出やすい季節です。管理職や同僚のちょっとした声かけや、相談しやすい窓口・オンラインカウンセリングの案内など、日頃からの“話しやすい空気づくり”が、離職防止と組織の安定運営につながります。

3. ゴールデンウィーク前に仕込む“春～初夏”販促アイデア

観光や帰省、レジャー需要が高まるゴールデンウィークは、小売・飲食・観光事業者にとって一年でも大きな商機です。4月のうちに、セット商品や限定メニュー、スタンプラリーやコラボ企画などを準備しておくことで、「春～初夏のまとまった動き」を取りこぼさずに売上アップの波に乗ることができます。

4. 地政学リスク時代の“サプライチェーン再点検”

米中対立や中東情勢の緊張など、国際情勢の不安定さは、中小企業のサプライチェーンにもじわじわ影響を及ぼしています。原材料や部品の調達が一国依存になっていないか、代替ルートや国内調達先を確保できるかを新年度に点検しておくことが、価格高騰や供給途絶のリスクを和らげ、事業継続力を高める一歩になります。